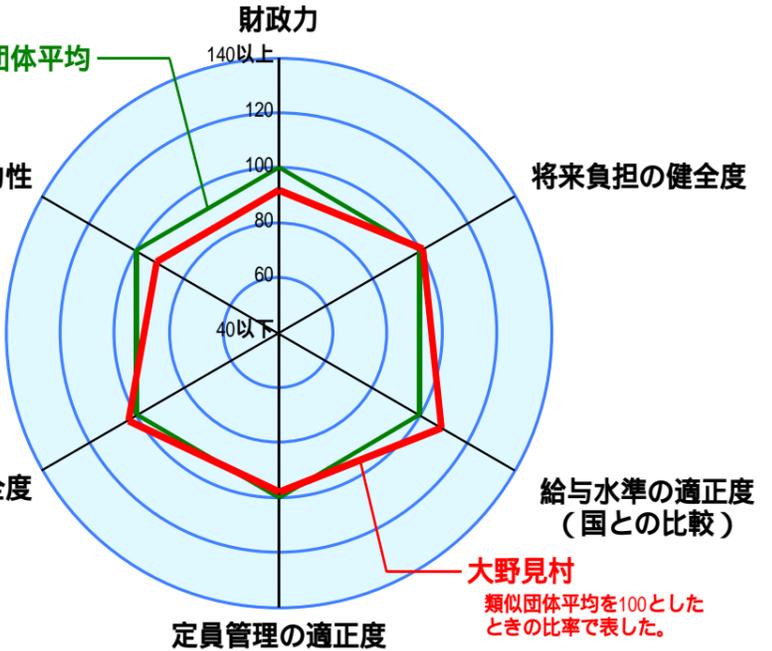
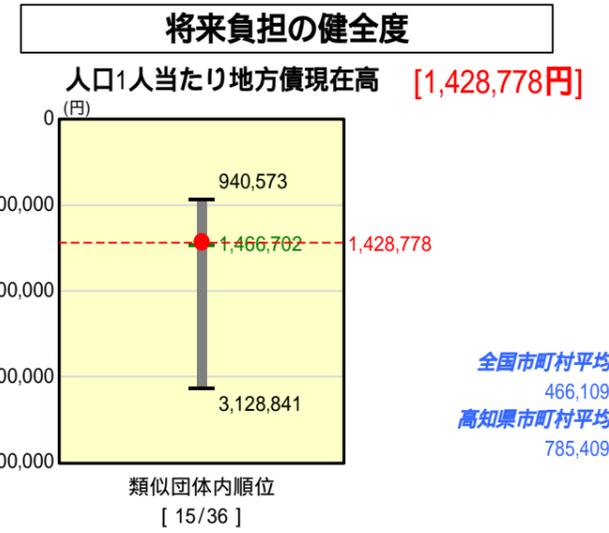
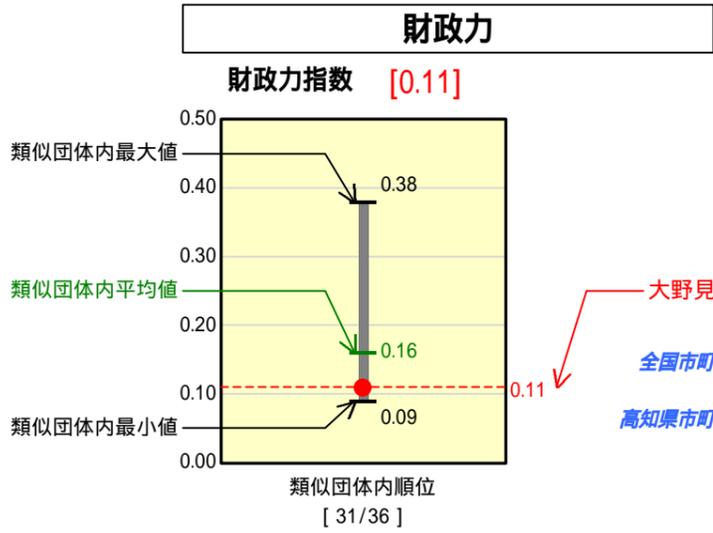


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

高知県 大野見村

人口	1,603人(H17.3.31現在)
面積	100.41 km ²
歳入総額	1,999,213千円
歳出総額	1,901,618千円
実質収支	69,538千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】
・過疎、高齢化が進む中山間地域であり、国勢調査による人口は平成12年度から、10.8% (1,711 1,526) 減少し、また高齢化率は平成17年12月で40.33%と、全国平均を大きく上回り、地域の活力が失われている。地域の主な産業は零細な農林業であり、地域の経済の冷え込みも続き、財政力指数も類似団体平均より大幅に低い数字となっている。今後は市町村合併による財政基盤の強化と共に、行財政の効率化を図っていく。

【経常収支比率】
・昨年に比べ、公債費、扶助費は増加しているが、職員数の削減等により、人件費が減少し、義務的経費自体も4百万円前後減少している。にもかかわらず、自主財源が乏しく、また普通交付税及び臨時財政対策債も減少傾向にあるため、経常収支比率は高くなっている。今後は、市町村合併により財政基盤を強化すると共に、行財政の効率化を図り、また適正な課税と徴収率の向上に努めて、改善に取り組んでいく。

【起債制限比率】
・現在は適正な範囲にあるが、今後は合併に伴う事業の増加も見込まれる。大型事業は緊急度・住民ニーズにより取捨選択し、優先順位を付け計画的に行う等、公債費が財政を圧迫しないような財政運営に努めていく。

【人口1人当たり地方債現在高】
・ほぼ、類似団体の平均と同じで、若干上回る数値となっている。条件の悪い起債は可能であれば繰上償還を行っていく。また今後は合併に伴う事業の増加も見込まれる。大型事業は緊急度・住民ニーズにより取捨選択し、優先順位を付け計画的に行う等、公債費が財政を圧迫しないような財政運営に努めていく。

【ラスパイレス指数】
・給与体系の適正化に努め、低い水準を保っている。今後も適正化に努めていく。

【人口1,000人当たり職員数】
・類似団体平均のほぼ中位にあり、平均値を若干上回っているが、退職者に対する不補充で職員数は減少傾向にある。今後は合併により一時的に職員数が増加するが、計画に沿って類似団体に見合った職員数に調整していく。

